

音楽や芸術作品楽しむ

下関で梅ヶ峠ものづくりの広場展



作品展示や音楽ステージ、ワークショップなどが楽しめる、梅ヶ峠ものづくりの広場展が12日、下関市永田郷の梅光学院大学梅ヶ峠キャンパスで始まり、県内外の親子連れらが訪れた。13日まで。

音楽や芸術など、さまざまな分野の作家らでつくる市民団体「結いの会」(森野清和会長)が毎年開き、6回目。会員の作品展示のほか、ファッションショーや地元のミュージシャンらによるステージなどでにぎわった。

手作りワークショップのコーナーもあり、参加者は作家のアドバイスを受けながら、木工や機織り、ステンドグラス作りなどを体験した。同市豊浦町浦田の誠パステル画のポストカード作りを体験する参加者12日、下関市

意小学校5年、藤本菜央さん(10)は家族でパステル画を体験。粉状にした赤色や黄色のパステルで指先を使って描き、カーネーションのポストカードを作った。「思ったより簡単にきれいな色が出せた。母の日に渡して『ありがとう』と伝えたい」と話した。

同会は2012年11月に発足。市の文化活動の拠点として梅ヶ峠キャンパスの一部をアトリエや教室として活用している。森野会長は「梅ヶ峠キャンパスで、ジャンルを問わずさまざまな作家が活動していることを知ってもらえたら」と話している。

白衣でお医者さん気分

山口で試着体験などイベント

山口市阿知須の阿知須共立病院(三好正規院長)で12日、「看護週間」(6)に合わせたイベントが開かれ、多くの来場者でにぎわった。



糖尿病サポートチームによる血糖測定や放射線スタッフによる骨年齢検査があったほか、在宅看護の相談コーナーなども設けられ、来場者は職員からアドバイスを受けるなどした。医師や看護師の制服の試着体験もあり、子どもたちが記念撮影をするなどして楽しんでいた。

三好院長は「地域の方々と職員が触れ合い、看護の仕事に対する理解を深めてもらう機会になれば」と話していた。

白衣を着て記念撮影する子どもたち12日、山口市